



造形 秋田

NO.62 (令和7年度) 2026.4

秋田県教育研究会造形部会
秋田県造形教育研究会

「未来につなぐ造形教育」

秋田県造形教育研究会
会長 黒沢 淳

今年度、「第 69 回東北造形教育研究大会秋田大会」並びに「第 44 回秋田県造形教育研究大会南ブロック大会」を7月31日～8月1日に大仙市において開催できましたこと、南ブロックをはじめとする県造形研会員の皆様、そして多大なるご尽力を賜りました実行委員の皆様に心より感謝申し上げます。

また、会場をご提供いただきました大曲小学校様、大曲中学校様をはじめ、ご後援を賜りました各地区教育委員会の皆様方に、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、文部科学省においては、中央教育審議会への諮問など、次期学習指導要領の改定に向けた動きが本格化しております。令和7年7月11日の全日本美術教育会議で示された提言では、美術教育の強みや、デジタル化と実体験の調和、伝統文化の継承などについて言及されました。AI時代を迎え、創造性や感性といった人間ならではの資質・能力が一層求められる中、図工・美術教育が果たす役割はますます大きくなっていくものと確信しております。

本大会は、図工・美術教育が抱える今日的な課題を共有し、実践的な研究を通して、より質の高い教育を追求する場でありました。大会テーマ「みつめる めぐらす つくりだす ～未来につなぐ造形教育～」には、予測困難な未来において、他者との関わりの中で自分や社会を見つめ、自ら問いを發し、思考をめぐらせて自分なりの意味や価値をつくりだす子どもの姿を込めております。

子どもたちが造形的な見方・考え方を働かせ、「みつめる」「めぐらす」「つくりだす」という学びのプロセスを繰り返す中で、自らの可能性に気づき、変化の激しい社会を生き抜くための「未来に生きる力」を培うこと一。私たちはこの目標を掲げ、研究を進めてまいりました。「問う」ことを通して自ら学び、他者と共に主体的に問題を解決していく子どもの育成は、本県が目指す教育の在り方とも合致するものです。

また、第 66 回秋田県児童生徒美術展におきましても、約 2,500 名もの来館者を迎えることができました。会場が秋田市文化創造館となってから 4 度目を数え、運営面での習熟も進んでおります。ご協力いただいた会員の皆様には、重ねて感謝申し上げます。

最後になりますが、今年度の「造形秋田」の発刊にあたり、編集や執筆にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げ、巻頭言とさせていただきます。

造形秋田 62

目次

巻頭言

「未来につなぐ造形教育」

7

各地区造形教育研究会の活動報告

11

第 69 回東北造形教育研究大会（秋田大会）
第 44 回秋田県造形教育研究大会南ブロック大会
を振り返って

13

全国造形教育研究大会（奈良大会）研修報告

15

秋田県児童生徒美術展・話題作一覧

表紙作品

Save the earth
旭南小学校 5年 古谷 心春

各地区造形教育研究会の活動報告

組織

| | | | |
|------|-----------------|----|----------------|
| 会長 | 阿部 千鶴子 (八幡平小学校) | 理事 | 海沼 智恵子 (花輪中学校) |
| 副会長 | 関 清志 (尾去沢中学校) | 理事 | 辻 明日香 (十和田小学校) |
| 事務局 | 川口 好陽子 (柴平小学校) | 理事 | 内川 由美子 (小坂小学校) |
| 研究部 | 川島 春音 (十和田中学校) | | |
| 事業部 | 滝澤 政夫 (大湯小学校) | | |
| 会計監査 | 山崎 明子 (大湯小学校) | | |

主な事業

令和7年度総会・研修会

県児童生徒美術展鹿角地区審査会
鹿角造形教育研究会 研修会

鹿角小・中・高合同美術展
(コモッセ/1月14日~1月19日)

研究会(事業)の記録

県児童生徒美術展鹿角地区審査会 (12月9日)

今年度は、小・中合わせて 147 作品が出品され、そのうち、小学校 32 作品、中学校 20 作品が入賞した。

1月に行われた県の審査会では、小学6年から2作品が話題作に選出された。



鹿角小・中・高合同美術展 (1月14日~1月19日)

今年度も小・中・高合同美術展を開催した。県児童生徒美術展に出品された小・中学生の作品 147 作品のほかに、高校生の作品も出品され、多くの来場者に鑑賞していただくことができた。



6年 話題作

作品を見合う会 (1月19日)

北教育事務所 田森 舞 指導主事を講師としてお招きし、作品を見合う会を開催した。

見合う会の中では、「タイトルが工夫されている作品が多い。タイトルには、児童生徒の表したいこと、主題が込められたものであってほしい。タイトルから表したいことが伝わるものには、鑑賞者もひきつけられる。」というお話があった。また、「背景が塗られていなかったり、作品の一部が塗られていなかったりする作品であっても、そこに子どもの思い(表現したい意図)があれば、それは認めるべきである。」という助言もあり、教師本位の授業にならず、児童、生徒が主体的に作品制作に取り組めるよう工夫が必要であると感じた。

本会で実施している「小中高合同美術展・作品を見合う会」は小学校1年生から高校生までの作品が一堂に会する貴重な機会である。発達の段階を追って作品を見ながら、鹿角の造形教育について議論できる研修であるため、今後も継続していきたいと考える。



組織

| | | | | | |
|-----|--------|---------|----|--------|---------|
| 会長 | 津谷 美穂子 | (合川小学校) | 次長 | 小林さくら | (合川中学校) |
| 副会長 | 渡辺 俊春 | (長木小学校) | 会計 | 海沼 智恵子 | (東中学校) |
| 研究部 | 沼田 桃子 | (第一中学校) | | 辻 明日香 | (田代中学校) |
| 事業部 | 渡辺 睦子 | (北陽中学校) | | | |
| | 畠山 直子 | (有浦小学校) | | | |
| 事務局 | コガン 麻衣 | (鷹巣中学校) | | | |

主な事業

| | |
|---|---|
| 4月15日 大北造形研究会総会 (理事会：田代公民館) | 12月10日 地区審査会 (田代公民館) |
| 7月31日～8月1日 東北大会 兼 秋田南ブロック大会 (大曲小中・公民館・交流センター) | 1月7日～1月10日 第66回秋田県児童生徒美術展 (文化創造館) |

研究会(事業)の記録

大北造形研究会総会

昨年度に続き今年度の総会も、代議員型で行った。今年度の活動を確認し、1年間の見通しをもつことができた。また、「作品を見るとき視点及び視点の広げ方」について研修し、新年度の図画工作や美術の授業への意欲を高めた。

令和7年度東北大会 兼 秋田南ブロック大会

大館北秋田地区からもたくさんの方が参加することができてよかった。また、「表現と鑑賞を行き来しながら日本美術を味わう題材」を題目に、田代中学校の佐々木亜希子先生が実践発表を行った。新学習指導要領に対応して、日本の文化についての見方や考え方を深められる題材について発表した。

第65回秋田県児童生徒美術展地区審査会

地区審査では、段取り良く進めることができた。出品料を振り込みにするすることで、審査会の作業を減らすことができた。また、各学校に作品の名札用紙を配付したことで、各学校の負担や展示の際の負担が減った。審査では、中学校が長くかかってしまうため、来年度は学年ごとに分担を決めるなど工夫していきたい。

第65回秋田県児童生徒美術展

搬出入とも、会員の協力でスムーズに作業を進められた。全県の作品が集まるこの会は、会員にとって貴重な研修の場となっている。今後も協力しながら、教員の資質・能力を高められるよう、学んでいきたい。

最終理事会

今年度の地区審査会や来年度の総会のもち方、さらに令和13年度の東北大会について触れられた。来年度以降の大館北秋田の組織を見直し、編制した。また、秋田県児童生徒美術展において、大館北秋田の話題作品を鑑賞し、次年度への題材や授業展開の仕方について研修することができた。

組織

| | | | | | |
|------|--------|----------|-----|---------|-----------|
| 会長 | 嵯峨 静人 | (湖北小学校) | 理事 | 渡部 悦子 | (琴丘中学校) |
| 副会長 | 越後 谷知子 | (峰浜小学校) | | 佐々木 恵美子 | (藤里学園) |
| 会計監査 | 田崎 香弥乃 | (第四小学校) | | 豊田 良香 | (湖北小学校) |
| | 雄鹿 由加里 | (浜口小学校) | | 鈴木 悦子 | (淳城南小学校) |
| 事務局 | 岩谷 修一 | (能代南中学校) | 研修班 | 芹田 亨 | (能代第二中学校) |
| | | | | 田中 絵里奈 | (東雲中学校) |
| | | | | 越前 芳広 | (二ツ井小学校) |
| | | | | 後藤 加奈子 | (第四小学校) |
| | | | | 遠藤 祐子 | (湖北小学校) |

主な事業

総会・研修会 令和7年4月24日(木)
三種町立湖北小学校 図書室

夏季研修会 令和7年7月24日(木)
東雲中学校 美術室
「様々な粘土を用いた実技体験活動」
講師：日本教材株式会社 中村 匠吾 様

授業研究会 令和7年9月18日(木)
八峰町立八森小学校
「むすんで つないで」(小学校4年生)
授業者：長野 加奈子 教諭

秋田県児童生徒美術展地区審査兼
「絵を見て語る会」
令和7年12月10日(水)
三種町立湖北小学校 体育館

研究会(事業)の記録

夏季研修会

日本教材株式会社の中村匠吾様を講師にお招きし、「様々な粘土を用いた実技体験活動」というテーマで、前半は「いろいろな紙粘土の紹介」、後半は「軽い紙粘土でお弁当作り」の実技研修会を実施した。

部会員からは「粘土の様々な種類や特徴、用途や手触り等について改めて知ることができてよかった。」「本物の形や色を想像しながら造形することは難しい面もあるが、例えば卵焼きを粘土で作っても、個々の感性やアイデアで、皆違うように表されていたことが面白さだと思った。」「実際に作ってみたことで、絵の具を混ぜるときに粘土を多めにした方がべたつかないことや部品を作るときに少しおいて乾かした方が作りやすいこと等、制作に取り組む子どもたちに具体的な声掛けができると思った。」等の感想があった。様々な紙粘土について体験的に学びながら、互いに鑑賞し合い、今後の指導にも生かせる充実した研修会となった。

授業研究会

八峰町立八森小学校において、長野加奈子教諭が「むすんでつないで～図工室をおもしろランドに変身させよう～」(小学校4年生)の造形遊びの授業を提示した。

本時は「身近な場所を使って枝をつなげる活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫しながら思い付いたものをつくることできる」ことをねらいとした授業であった。

豊富な材料や用具が材料コーナーに準備され、子どもが思い付いたことをすぐに試すことができる学習環境や、地域素材として、子どもたちと担任が近くの海辺で集めてきた流木は、子どもが拾いに行った時から思いが広がり、創造的になっていること、子どもたちの表情がとても生き生きしていて、つなぎ方の様々な工夫が生まれていく様子が素晴らしかったこと等が話題になった。



組織

| | | | | | |
|-----|--------|-----------|------|--------|-----------|
| 会長 | 鈴木 征和 | (天王小学校) | 運営委員 | 菅原 恵 | (大潟小学校) |
| 副会長 | 松田 万寿雄 | (船川第一小学校) | | 上田 環 | (天王小学校) |
| | 太田 三千代 | (脇本第一小学校) | | 小室 真実 | (羽城中学校) |
| | | | | 澤田 弦吾 | (男鹿東中学校) |
| | | | 事務局 | 佐藤 健太郎 | (船川第一小学校) |

主な事業

総会 4/16 (水)

教科等研究会 11/5 (水)

県児童生徒美術展地区審査
12/10 (水)

研究会(事業)の記録

①教科等研究会

- ◆会場 秋田市立千秋美術館
- ◆時間 14:30~16:20
- ◆内容 作品鑑賞及び解説 宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO
- ◆所感 教科等研究会では、千秋美術館の特別展「宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO」を鑑賞した。また、学芸員による解説もあり、参加者は作品を味わうとともに、自身の今後の造形教育にどう生かすことができるかをイメージしながら研修を深めることができた。



②県児童生徒美術展地区審査・子どもの作品の見方研修会

- ◆会場 潟上市市民センター昭和館
- ◆時間 13:30~16:30
- ◆所感 「県児童生徒美術展」が昨年同様に開催されることになり、それに合わせて12月10日に地区審査会等を実施した。昨年度同様の方法で実施することで、役員を中心に協力して準備や審査を行うことができ、活発に参加者同士で指導方法や評価方法などの情報交換も行うことができた。ここで得たものを次年度以降の造形教育に生かしたい。

組織

| | | | | | |
|-----|-------|---------|----|--------|-----------|
| 会長 | 三浦 直樹 | (山王中学校) | 幹事 | 小泉 水季 | (旭川小学校) |
| 副会長 | 松田 清悦 | (河辺中学校) | | 伊勢 さおり | (岩見三内小学校) |
| | 黒沢 淳 | (日新小学校) | | 伊藤 知佐子 | (秋大付属中学校) |
| 事務局 | 中尾 裕子 | (山王中学校) | 会計 | 櫻田 麻莉恵 | (外旭川中学校) |
| | | | | 秋山 流華 | (大住小学校) |

主な事業

教科研究会①(水曜研修)

会場；秋田市立千秋美術館
実施日；令和7年5月14日(水)

大森山動物園

第48回 親と子のふれあい写生大会
(大森山動物園と共催；審査日8月8日)

全市一斉授業研究会(小学校)

会場；築山小学校
実施日；令和7年11月5日(水)

秋田県児童生徒美術展秋田市審査

審査会場；仁井田小学校
審査日；令和7年12月6日(土)

教科研究会②(水曜研修)

会場；秋田市西部市民SC(ウェスター)
実施日；令和8年2月4日(水)



5月水曜研修の様子

教科研究会(水曜研修)

5月に行われた1回目の教科研究会は、改装工事を終えた千秋美術館の協力を得て、『おいしいボタニカルアート』展の鑑賞とギャラリートークが実施され、造形会員以外も含め30名が参加した。精密な植物画や繊細な食器類、さらに家具も含めたイギリスの伝統的なアフタヌーンティーの再現など様々な展示を実際に見て、学芸員の解説を聴いて、充実した鑑賞会だった。

2月の研修では、八洲学園大学特任教授の佐々木達之先生の講話会をオンラインで実施した。小・中学校の教員合わせて30名程が参加した。佐々木先生からは、次期学習指導要領も見据えながら、題材や授業についてご教授いただいた。授業を通して身に付けさせたい力や伸ばしたい力を押さえ、発達段階に合わせた題材の選定や指導方法を工夫することの大切さを、佐々木先生ご自身やたくさんの先生方の実践例を交え、分かりやすくお話していただき、非常に有意義な研修となった。

研究会(事業)の記録

○全市一斉授業研究会(小学校) 11月5日(水) 築山小学校 菅原 那美 先生
題材名「ことばから思いうかべて」(3年生)

今年度は、詩の言葉から感じたことや想像を膨らませ、表し方を工夫しながら表現する題材を实践する予定だったが、授業予定の学級が学級閉鎖となり、当日は提案授業を行うことができなかった。そのため、当日の協議会では、その前時の授業を撮影した映像を視聴し、意見交換を行った。

映像の中の子どもたちからは、形と色の組合せや、絵の具を混ぜたり水の量を調節するなど、様々な表し方を工夫し、感性や想像力を働かせ、自分のイメージをもちながら表現活動に取り組む様子が見られた。その後の質疑応答を経て、各グループごとに、本題材での指導の注意点や次時以降の効果的な指導法等について、それぞれの経験を踏まえながら話し合った。表現活動に取り組む生徒の様子を直に見ることができなかったことは残念であり、見たい活動がよく見えないという難点もあったが、映像を活用した協議会の一例として一定の成果はあったと思う。

組織

| | | | | | |
|-----|--------|----------|------|-------|----------|
| 会長 | 菊地 邦彦 | (東由利中学校) | 事務局 | 宮田 幸江 | (尾崎小学校) |
| 副会長 | 佐々木 紀子 | (尾崎小学校) | | 田所 史世 | (本荘北学校) |
| | 安保 朋子 | (岩谷小学校) | 研究部長 | 関口 琢也 | (院内小学校) |
| | | | 会計 | 山下 奈知 | (本荘南中学校) |

主な事業

| | | | |
|---------------|----------|--------------|----------|
| 令和7年度造形部総会 | 4/15 | 造形部研修会 | 12/11 |
| 本荘由利図工・美術の学び展 | 11/15~17 | 東北造形教育研究大会参加 | 7/31~8/1 |

研究会(事業)の記録

1. はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の表現がどうあるべきかを考察すること、また、造形教育セミナー・本荘由利図工・美術の学び展・県児童生徒美術展など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標としている。

特に、本荘由利図工・美術の学び展は各校の造形活動の取組を紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。展示された作品と名札に書かれた作者の思いをもとに、「子どもの学び紹介」という活動を通して、児童生徒の思いが生かされた表現やその表現の見方、造形活動の在り方などについて研修する活動の意義は大きい。

2. 各事業の成果

(1) 東北造形教育研究大会秋田大会への参加 (7月31日~8月1日)

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の表現がどうあるべきかを考察すること、また、造形教育セミナー・本荘由利図工・美術の学び展・県児童生徒美術展など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標としている。

特に、本荘由利図工・美術の学び展は各校の造形活動の取組を紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。展示された作品と名札に書かれた作者の思いをもとに、「子どもの学び紹介」という活動を通して、児童生徒の思いが生かされた表現やその表現の見方、造形活動の在り方などについて研修する活動の意義は大きい。

(2) 本荘由利図工・美術の学び展 (11月15日~11月17日)

本荘由利図工・美術の学び展 (11月15日~11月17日) 由利本荘市文化交流館「カダール」で開催した。テーマである「あっ、いいこと考えた」を反映した個性豊かな表現が数多く見られた。3日間で約1,300名の来場があり、多くの方々に見ていただくことができた。

出品作品の中から造形部が目指す表現を「子どもの学び紹介」として紹介した。各小・中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取組と各校の協力で、運営面・展示内容ともにより充実した美術展となった。

来年度も、本荘由利図工・美術の学び展が学習指導要領の趣旨に則った研修の場となるように協議を重ねていき、具体的な取組を各校に発信していく予定である。

(3) 造形部研修会 (12月11日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する審査会として行った。造形部員にとっては、児童生徒の作品の傾向・よさ・課題について話し合う有意義な研修の場となり、今後の授業に役立つ多くの情報を得る機会となった。また、今年度も審査で選出された作品を、秋田市文化創造館にて展示することができた。

組織

| | | | | |
|-----|--------|----------|-------|-----------|
| 会長 | 菅原 靖 | (角間川小学校) | | |
| 副会長 | 熊谷 留美子 | (大曲中学校) | 佐藤 智美 | (東大曲小学校) |
| 監事 | 永田 縁 | (南外小学校) | 三浦 里子 | (大川西根小学校) |
| 幹事 | 田中 武晴 | (協和中学校) | 佐藤 好一 | (西仙北中学校) |
| | 新目 麻衣子 | (角館中学校) | 武田 淳子 | (仙北中学校) |
| | 田中 真二郎 | (中仙中学校) | 澁谷 千里 | (美郷中学校) |
| | 高橋 涼 | (生保内中学校) | 小林 翔子 | (大曲南中学校) |

主な事業

郡市教育研究会総会
決算報告と予算決定、研究テーマ、
活動計画、役員決定

第66回秋田県児童生徒美術展地区審査会
及び冬季研修会
11月28日
第56回大曲仙北児童生徒美術展
会場：大曲市大曲交流センター
11月29日～30日

大曲仙北造形教育研究会 夏季研修会
第69回東北造形教育研究大会 秋田大会
第44回秋田県造形教育研究大会
南ブロック大会

大曲仙北造形教育研究会 研究推進会議

研究会(事業)の記録



- 研究テーマ「みつめる めぐるす つくりだす ～未来につなぐ造形教育～」
- 関連事業

- ・ 大曲仙北造形教育研究会 夏季研修会
第69回東北造形教育研究大会 秋田大会
第44回秋田県造形教育研究大会 南ブロック大会

2日間にわたって行われた東北大会では、これまで積み重ねてきた研究の成果を共有し、造形教育における今後の展望を明確にする意義深い機会となった。大曲小・中学校では対面での授業研究会が行われ、児童生徒の生き生きとした学びの様子を県内外の参加者の方に直接見ていただくことができたのは大きな成果である。大曲仙北地区からは3つの研究授業を提示した(小学校2年造形遊び…大川西根小教諭・三浦里子、小学校4年表現…角館小教諭・三浦ひかり、中学校2年鑑賞…中仙中教諭・田中真二郎)。それぞれの研究協議会では活発な意見交流がなされ、さらに研修を深めることができた。



- ・ 第66回秋田県児童生徒美術展地区審査会及び冬季研修会
- ・ 第56回大曲仙北児童生徒美術展

児童生徒美術展の各部門と郡市児童生徒美術展として自由部門の出品作品を募り美術展を開催した。規定に囚われない多様な作品が集まり、各校の取組を紹介し研修し合う貴重な機会となった。学年全員で制作した作品も多く出品され、児童生徒が生き生きと取り組んだことが感じられる作品が会場を賑わせた。

組織

| | | |
|-----|-------|-----------|
| 会長 | 美濃 俊幸 | (十文字中学校) |
| 副会長 | 柴田 緩子 | (増田中学校) |
| 事務局 | 高橋 潤 | (横手南中学校) |
| 研究部 | 佐藤 朋子 | (平鹿中学校) |
| 事業部 | 高橋 輝樹 | (横手明峰中学校) |

主な事業

7月3日(木)
第69回東北造形研究大会事前研修会

11月17日(月)～20日(木)
第51回横手市児童生徒美術展

11月20日(木)
第66回秋田県児童生徒美術展審査会

研究会(事業)の記録

○第69回東北造形研究大会事前研修会

横手南中学校で、東北造形研究大会事前研修会を行った。指導者である大野一紀先生にも参加して頂き、ほぼ本番と同じ流れで事前授業を行ったため、本番に向けた具体的な改善策を見つけ出すことができた。

導入の場面では、自分の作品について生徒に説明させた方がよいことや、レーザーポインターを使用した方がよいのかどうか、掲示物のサイズや配列の仕方、必要な黒板の枚数や机の配置など具体的な授業場面を想定した意見が次々と出された。実際の生徒の姿を思い浮かべながら検討が進み、指導案はより実践的な内容へと修正された。終始活発な雰囲気の中で、授業への共通理解を深める有意義な時間となった。



○第51回横手市児童生徒美術展、秋田県児童生徒美術展審査会

Y2(わいわい)プラザのホールいっぱいに、小学生ののびのびした図工作品と、中学生の個性あふれる美術作品が展示された。小学校の作品からは自由な発想と色使いの楽しさが伝わり、中学生の作品からはテーマを深く考え表現する力の成長を感じることができた。会場では、児童・生徒や保護者、卒業生達も来場し、作品を見入る姿が多く見られ、子ども達の表現の広がりを共有する温かな機会となった。

ただ、数年前は、出品される作品数が多く、壁面や展示台が不足するような場面も見られたが、児童・生徒数の減少により出品作も減少し、作品の見やすい展示になったが、会場にやや寂しさも感じられた。今後、出品規定の見直しも必要になってくるのかもしれない。

県美術展の審査会では、一点一点の作品を前に、色使いや構成、表現の工夫などを丁寧に確認しながら審査を進めた。出品されたどの作品からも作者の思いや、創意工夫が感じられ、「ここがおもしろい。」「どんな素材を使ったのかな。」といった声も聞かれ、今後、自己の授業改善にもつながるような審査会となった。



組織

| | | |
|------|--------|----------|
| 会長 | 豊島 寿 | (三輪小学校) |
| 副会長 | 鈴木 陽 | (雄勝小学校) |
| 研究部長 | 池田 亜紀 | (湯沢東小学校) |
| 事業部長 | 斉藤 佳奈子 | (東成瀬中学校) |
| 幹事 | 池田 亜紀 | (湯沢東小学校) |
| 会計 | 高橋 香理 | (湯沢南中学校) |
| 事務局長 | 小原 真祈子 | (稲川中学校) |

主な事業

郡市教育研究会総会
研究テーマ、活動計画、今年度役員の確認
(湯沢北中学校 / 4月15日)

第70回秋田県児童生徒美術展
湯沢雄勝地区審査
(三関地区センター / 11月26日)

第69回東北造形教育大会秋田大会
第44回秋田県造形教育研究大会
南ブロック大会
大曲小学校、大曲中学校、大曲交流センター
/ 7月31～8月1日

第70回秋田県児童生徒美術展
作品展示と研修(審査)、撤去
秋田市文化創造センター
/ 1月7日～10日

研究会(事業)の記録

◎第65回秋田県児童生徒美術展湯沢雄勝地区審査

審査と共に研修を行い、今後の指導にどう生かすか考えたり、意見を出し合ってよりよい指導の在り方について考えを深めたりした。以下、審査講評からの抜粋である。

【低学年】クレヨンなどの画材や技法の良さがうまく生きていた。身近な生き物や野菜などから発送を広げた作品が多く見られ、体験が生きている絵が多く、のびのびと表現活動を楽しむ様子が伝わってきた。

【中学年】色彩が鮮やかな作品や色使いが美しい作品が多く選出された。画用紙の色を工夫し、淡い色の透明感や背景との調和を表現したものや、写実的というよりスパッタリングや点描などの技法を取り入れたものなど独自の表現世界を作り上げた作品が印象的だった。

【高学年】自然物を使った立体作品が出品されており、作品のバリエーションが多かった。6年生では校内の風景を描いた作品が多かった。6年間を過ごした自分の学校に対する思いを複数の技法を組み合わせで表現していた。中学年の色鮮やかさとは代わり、水彩絵の具の良さを生かした淡い色合いの作品が多く見られた。

【中学校】平面作品ではどの作品も色の塗り方や水の調節、モダンテクニックなどの技法を取り入れた作品が多く見られた。立体作品では地域の伝統工芸に触れ、表現と鑑賞をつなげた作品があり、教育的意義の深い実践が話題となった。人体を扱う作品においては体の動きが感じられ動静が表現できていた。

◎第69回東北造形教育大会秋田大会兼第44回秋田県造形教育研究大会南ブロック大会

「みつめる めぐらす つくりだす」という大会テーマのもと、県南地区が大会運営役員として事前研修、前日の会場準備、二日間の運営補助をしながらそれぞれの会員が中学校の授業と小学校の授業の参観をすることができた。中学校の授業では、地域の良さをPRするデザインの授業でICTを活用した授業やカードゲームで地域の美術館の展覧会をプロデュースする鑑賞の授業など苦手意識を持っている生徒でも取り組みやすい新しい授業作りが提示されました。児童生徒の臣を大切にしたい授業作りの大切さを感じる有意義な研究大会だった。

第 69 回東北造形教育研究大会（秋田大会）
第 44 回秋田県造形教育研究大会南ブロック大会
を振り返って

1 はじめに

令和7年7月31日、8月1日に開催した本大会では、全国からの参加者より多くの示唆を得た。対面での公開授業では、子どもの主体的な学びの姿を基に、参加者間の協議が活発に行われ、造形教育の可能性を改めて確認する機会となった。猛暑下で学びに向かう子どもたち、それを支えた授業者・会場校の先生方、実践発表・講話の先生方、運営に携わった皆様に深く感謝申し上げます。

本稿では、参加者217名中43名からのアンケートを基に本大会の研修効果と課題を整理する。本大会で得られた知見が、各地域の造形教育の充実に寄与することを願う。

2 大会全体の評価

回答者の約9割が「非常に有意義」と評価し、否定的意見はなかった。対面で得られた子どもの学びの姿を基に協議を行えたことが高評価につながった。また、「明日からの授業に生かせる学びがあった」との声も多く、研修としての実効性が示された。

3 研究授業・分科会の成果

1日目は小・中学校の表現・鑑賞の授業が公開され、ICT・AI活用や子どもの主体的な学びに肯定的意見が多く寄せられた。ICTによる拡大・比較・記録機能が学習の深まりに有効であったとの意見も多い。教材研究の深さや対話的学習への評価も見られた。一方、会場の暑さや観覧スペースの不足など、環境面の課題が指摘された。

4 実践発表・講話の学び

2日目の実践発表と講評・講話では、日本美術の変遷、地域素材の活用、表現と鑑賞の関連など、多様な視点が提示された。地域文化と学びをつなぐ実践への評価が高く、「理想の姿を再認識した」との声もあった。実践共有を通して、各地域の実態に応じた授業改善の意欲が高まったことがうかがえる。

5 運営・DX化の評価

Peatixによる申込、指導案の事前配布、受付の無人化など、効率化を評価する声が多かった。一方、操作に不慣れな参加者も一定数おり、デジタルツールの周知方法や案内の工夫が課題として挙げられた。

6 課題と今後の展望

アンケートから、次の課題が示された。

- ①夏季高温下での公開授業への対策
- ②参観者数に応じた会場配置の改善
- ③デジタルツール活用に関する事前案内の充実
- ④実践発表後の協議時間の確保

これらは次年度以降の改善点として重要である。一方、本大会は参加者の学ぶ意欲を高め、地域を越えて造形教育の可能性を共有する貴重な機会となった。対面の場で生まれた参加者同士のつながりは、今後の研究の深化に寄与すると考える。

7 おわりに

アンケート結果から、本大会は多くの気付きと実践的示唆をもたらす充実した研修の機会となったといえる。子どもの学びに基づく授業改善や、地域文化を生かした造形教育の展開が、今後一層広がることを期待する。

全国造形教育研究大会（奈良大会）研修報告

1 研修概要

全造連の研究大会は、令和8年1月23日24日、奈良県橿原市文化会館および近隣校にて実施され、小・中学校の公開授業の参観と、講師による基調講演を通じて、造形教育の現在地と次期学習指導要領改訂を見据えた展望を学ぶ機会となった。奈良という深い歴史を有する土地での実践は、子供たちが生活と文化を接続しながら表現を豊かにしていく姿を捉えることができ、造形教育の根幹を改めて考える貴重な経験となった。

2 授業に見られた学びの特徴

公開授業では、短歌の情景を版画へと昇華させる教科横断的な実践や、アートカードを用いた対話的鑑賞、小学校での動く仕組みを生かした制作など、多様な活動が展開されていた。共通していたのは、材料や技法との対話が、そのまま「自己との対話」へ接続している点である。特に、偶然生まれた形や色に驚き、次の表現を探る子供たちの姿からは、「正解」に縛られず、即興性をもって探究する造形の学びが鮮明に見て取れた。また、ICTをポートフォリオとして自然に活用し、制作過程の振り返りが深まっていた点も印象的であった。

3 美術教育がもつ価値の再確認

授業のポイントは、身体を伴った試行錯誤の価値である。彫刻刀の抵抗や絵具の混ざり方など、予測不能な出来事と向き合う経験は、生成AIが普及する時代において、むしろ人間固有の感性を鍛える重要な場となる。

基調講演でも、AIが精巧な画像を生成する時代だからこそ、「なぜ自分の手で創るのか」という問いを子供たちと共有し、学びの意味を再構築する必要性が語られていた。偶然や失敗を受け入れながら、自らの感性を探る造形表現は、AI時代の学びにおいて大きな意義を持つ。

4 将来の展望 — 持続可能な研究会と次世代育成へ

今回の研修を通じ、これからの造形教育と研究会のあり方として、以下の展望を強く感じた。

- ・ 軽やかでフラットな学びのネットワークづくり
従来型の組織の重さに頼るのではなく、ICTを活用し、事務負担を減らし、作品や表現について対話する本質的な時間に焦点を当てる研究会へ。
- ・ 若手教員の感性を尊重する伴走者としての姿勢
経験を「型」として押しつけるのではなく、若手が抱く違和感や新しい視点を面白がり、共に試行錯誤する関係性に移行すること。
- ・ AI時代に対応した造形教育の再定義
AIを道具として賢く活用しつつ、人間にしか持ち得ない「身体性」「偶然性」「不完全さ」の価値を再提示していくこと。

奈良大会で得た学びは、秋田県の造形教育の未来を考えるうえで大きな示唆となった。これからも、一人の探究者として、子供たちの表現とひびきあう環境づくりに力を尽くしていきたい。



秋田県児童生徒美術展・話題作一覧

令和7年度 第66回秋田県児童生徒美術展

話題作一覧表

| | 題名 | 学校名 | 氏名 | 地区 |
|----|-----------------------|--------|----------|------|
| 小1 | にぎやかなうみ | 桜小 | さいとう かえで | 秋田 |
| | もりのふくろう | 横手北小 | せがわ つばき | 横手平鹿 |
| 小2 | あさがおらんどに みんなあつまれ | 第四小 | ひろの さゆき | 能代山本 |
| | ぼくといっしょ。 | 美里小 | いちかわ きはる | 男鹿南秋 |
| 小3 | おさかながいっぱい!! | 雄勝小 | 高橋 優詩 | 湯沢雄勝 |
| | にじいろの魚 | 藤木小 | 伊藤 梓 | 大曲仙北 |
| 小4 | きれいな海をなかめて、海をぼうけんするかめ | 湯沢西小 | さとう 夏ほ | 湯沢雄勝 |
| | 見たこともない魚 | 八郎瀧小 | さとう みつる | 男鹿南秋 |
| 小5 | つかまえたぞ、大もの! | 東小 | はたけ山 ずばる | 秋田 |
| | 大きな魚からにげろ! | 湖北小 | 金子 まゆ | 能代山本 |
| 小6 | あれる海のぼうけん | 桜小 | 小柳 大登 | 秋田 |
| | ゆめの海底ホテル | 大豊小 | 澤井 大稜 | 男鹿南秋 |
| 小1 | 恐竜パーク | 湯沢東小 | 小川 晟遼 | 湯沢雄勝 |
| | うちゅうの花 | 東大曲小 | 高橋 沙羅 | 大曲仙北 |
| 小2 | にじ色の海を泳いでいるイルカ | 西目小 | 佐々木 広心 | 本荘由利 |
| | カラフルマンボウ | 羽後明成小 | 鈴木 愛唯 | 湯沢雄勝 |
| 小3 | 一万年以上生きた花 | 日新小 | 小田嶋 景 | 秋田 |
| | どこまでも広がる木 | 合川小 | 赤坂 萌華 | 大館北秋 |
| 小4 | アサクラノサクラ | 朝倉小 | 小野 芽衣香 | 横手平鹿 |
| | 食べた!けど、つられた! | 尾崎小 | 渡部 栞菜 | 本荘由利 |
| 小5 | Save the earth | 旭南小 | 古谷 心春 | 秋田 |
| | 光る天の川 | 上小阿仁小 | 三浦 こはく | 大館北秋 |
| 小6 | わすれられた森 | 泉小 | 小西 桃加 | 秋田 |
| | 夜空の星 | 中仙小 | 熊谷 優月 | 大曲仙北 |
| 中1 | 心のパーティー | 日新小 | 赤沼 颯涼 | 秋田 |
| | ミラーの中の思い出 | 八郎瀧小 | 伊藤 綾音 | 男鹿南秋 |
| 中2 | 楽しい中庭 ~秋~ | 皆瀬小 | 高橋 花梨 | 湯沢雄勝 |
| | 「唯一無二」夢の深海 | 稲川小 | 石田 太一 | 湯沢雄勝 |
| 中3 | 光差し込む図書室 | 花輪小 | 馬越 和芭 | 鹿角 |
| | 3年間熱中したもの | 柴平小 | 兎澤 來楽 | 鹿角 |
| 小1 | 水 | 横手南中 | 前川 いづみ | 横手平鹿 |
| | 夜のとばり | 角館中 | 高橋 光璃 | 大曲仙北 |
| 小2 | 反射する黒板 | 東雲中 | 金谷 唯花 | 能代山本 |
| | パイナポー | 秋田南中 | 石川 真名 | 秋田市 |
| 小3 | 不思議な木の実「蓄積」 | 土崎中 | 藤原 心晴 | 秋田市 |
| | 野球をしているときの燃え上がる気持ち | 西仙北中 | 佐々木 想 | 大曲仙北 |
| 小4 | 初めの一本 | 湯沢南中 | 小松 奈央 | 湯沢雄勝 |
| | 季節折々の和菓子「冬」 | 御所野学院中 | 伊藤 譲 | 秋田市 |
| 小5 | カラフル砂絵ワールドのキリン | 秋田西中 | 中島 茉莉 | 秋田市 |
| | 美術室の洗い場 | 八竜中 | 西村 優彩 | 能代山本 |
| 小6 | 風車 | 羽城中 | 鈴木 紫衣 | 男鹿南秋 |
| | 幼い頃の思い出 | 琴丘中 | 飯塚 瑠璃 | 能代山本 |
| 中1 | アクアリウム | 第一中 | 櫻田 芳月 | 大館北秋 |
| | 思い | 湯沢北中 | 大西 野乃花 | 湯沢雄勝 |
| 中2 | 自画像「絵を描いている自分」 | 天王南中 | 今野 心音 | 男鹿南秋 |

第66回秋田県児童生徒美術展

小学校1年



にぎやかなうみ
桜小学校 さいとう かえて



もりのふくろう
横手北小学校 せがわ つばき



あさがおらんどに みんなあつまれ
第四小学校 ひらの さゆき



ぼくといっしょ。
美里小学校 いちかわ きはる



おさかながいっぱい!!
雄勝小学校 高橋 優詩



にじいろの魚
藤木小学校 伊藤 梓



きれいな海をながめて、海をぼうけんするかめ
湯沢西小学校 さとう 夏ほ



見たこともない魚
八郎潟小学校 さとう みつる



つかまえたぞ、大もの！
東小学校 はたけ山 ずばる



大きな魚からにげろ！
湖北小学校 金子 まゆ

第66回秋田県児童生徒美術展

小学校3年



ゆめの海底ホテル
大豊小学校 澤井 大稜



あれる海のぼうけん
桜小学校 小柳 大登



恐竜パーク
湯沢東小学校 小川 晟遠



うちゅうの花
東大曲小学校 高橋 沙羅



にじ色の海を泳いでいるイルカ
西目小学校 佐々木 広心

第66回秋田県児童生徒美術展

小学校4年



カラフルマンボウ
羽後明成小学校 鈴木 愛唯



一万年以上生きた花
日新小学校 小田嶋 景



どこまでも広がる木
合川小学校 赤坂 萌華



アサクラノサクラ
朝倉小学校 小野 芽衣香



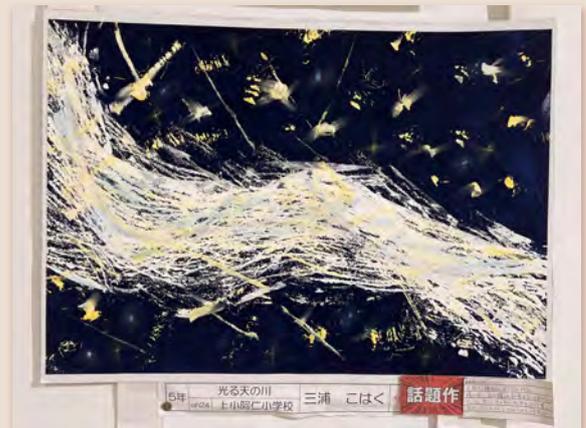
食べた!けど、つられた!
尾崎小学校 渡部 菜菜

第66回秋田県児童生徒美術展

小学校5年



Save the earth
旭南小学校 古谷 心春



光る天の川
上小阿仁小学校 三浦 こはく



わすれられた森
泉小学校 小西 桃加



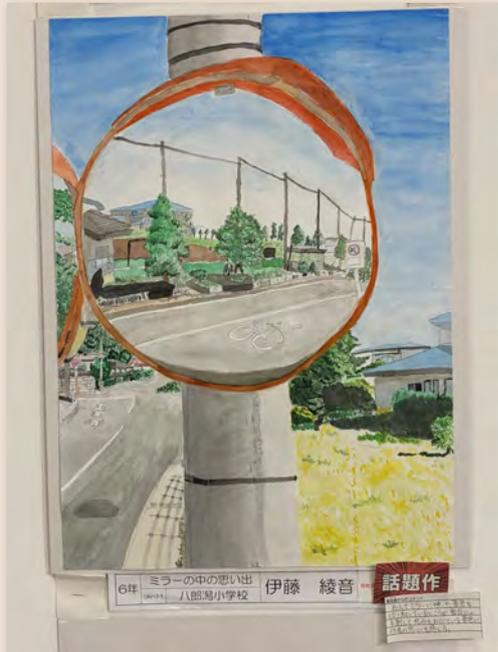
夜空の星
中仙小学校 熊谷 優月



心のパーティー
日新小学校 赤沼 颯涼

第66回秋田県児童生徒美術展

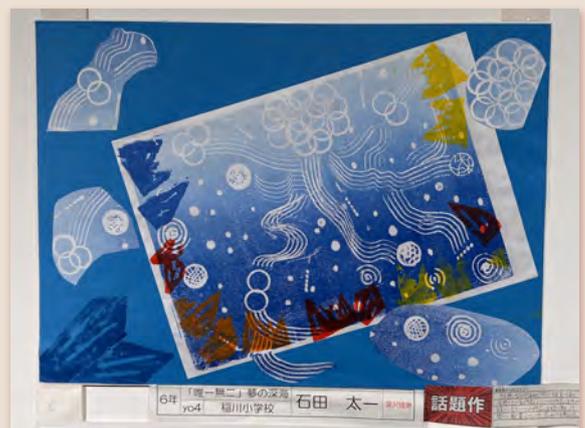
小学校6年



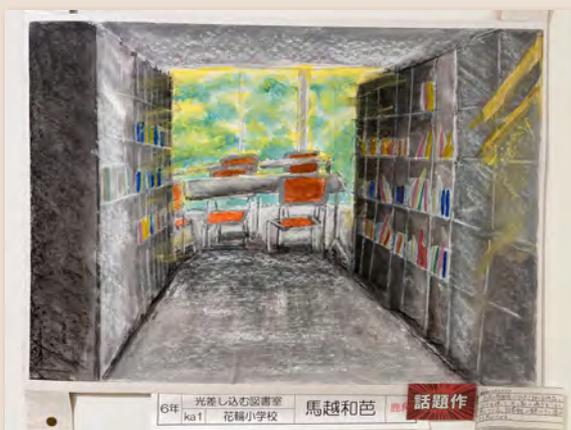
ミラーの中の思い出
八郎瀧小学校 伊藤 綾音



楽しい中庭 ~秋~
皆瀬小学校 高橋 花梨



「唯一無二」夢の深海
稲川小学校 石田 太一



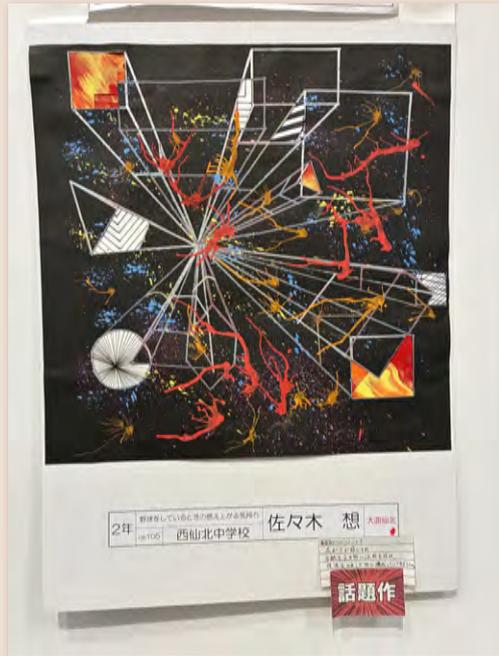
光差し込む図書室
花輪小学校 馬越 和芭



3年間熱中したものの
柴平小学校 兎澤 来楽

第66回秋田県児童生徒美術展

中学校2年



野球をしているときの燃え上がる気持ち
西仙北中学校 佐々木 想



初めの一本
湯沢南中学校 小松 奈央



季節折々の和菓子「冬」
御所野学院中学校 伊藤 譲



カラフル砂絵ワールドの麒麟
秋田西中学校 中島 茉莉



美術室の洗い場
八竜中学校 西村 優彩

第66回秋田県児童生徒美術展

中学校3年



風車
羽城中学校 鈴木 紫衣



幼い頃の思い出
琴丘中学校 飯塚 瑠璃



アクアリウム
第一中学校 櫻田 芳月



思い
湯沢北中学校 大西 野乃花



自画像「絵を描いている自分」
天王南中学校 今野 心音